

# UDL実践者の成長のルーブリック

Katie Novak & Kristan Rodriguez

## 取り組みのための多様な方法を提供しましょう



<b>興味を持たせるためのオプションの提供(7)</b>	選択や自主性を最適にする(7.1)	何を学ぶか（例：「フランスを勉強しなさい」ではなく、「勉強したい国を選んでごらん」）、どのように学ぶか（例：理解を深めるために本、ビデオ、先生の指導を使う）、どのように理解していることを表出するか（例：「ポスターに書いても、文章で表しても良いですよ」）のオプションを生徒に提供する。	何を学ぶか（学習基準で示されたもの）、どのように学ぶか、どのように理解していることを表出するかを決めるために、複数のオプションから選ぶように生徒を促す。学習基準に合いさえすれば、提示されているもの以外でも提案するように生徒を促す。	本当に自分にじっくりくるように、何を、どのように学び、どのように考えを表出するかを自分で選んだり、代替案を出したりできる雰囲気を作る。教師はいちいち指示を出すのではなく、促しやフィードバックを与え、生徒が自分の選択を主体的に振り返ることができるように助ける。
	関連性・価値・真実味を最適にする(7.2)	生徒が自分との関連性や自分にとっての価値・真実味をはっきりと感じられるオプションを提供する。例：生徒の興味を調べ、それに基づいてどう指導するかを決める。	自分との関連性や自分にとっての価値・真実味を共有するように促す。学習基準に合い、自分の関心や文化と強みにつながるような指導や評価があれば提案するように生徒を促す。例：毎週行う習得チェックや学級の話し合い活動。	生徒が、内容と自分の興味の関連を見出し、自分の理解を真実味のある現実世界や評価に結びつけられるように励ます。そうすることで、生徒は、教師からコーチングを受けながら、自分の学習をデザインすることができる。例：実験をさせたり、2つの実験から選ばせたりするのではなく、学習基準と本人の科学に対する興味に合わせて、自分たちの実験をデザインさせる。
	不安要素や気を散らすものを最小にする(7.3)	不安要素や気を散らすものを減らし、誰もが安心して学習できる場を生み出すオプションを生徒に提供する。例：座席の選択、協働作業のオプションを示す、PBISで期待される行動をはっきり示す。	クラスの規範やPBISで期待される行動を生徒と協働して作り、自分たちで教室をデザインするように生徒を促す。そうすれば、座席、協働作業などに複数のオプションができる。	生徒が自己主張でき、何が不安要素と気を散らすものになるのかを協働して突き止め、自分たちの力の発揮を可能にする創造的な解決策を生み出すように促す。生徒の意見が環境を変える。

取り組みのための多様な方法を提供しましょう



<p>努力や頑張りを続けるためのオプションの提供(8)</p>	<p>目標や目的を目立たせる(8.1)</p>	<p>目標とその価値の両方を思い出させる「リマインダー」を作る。 例：黒板や評価とプロジェクトに学習基準を書き添えておく。</p>	<p>自分たちの熱意と興味を踏まえて、協力して目標を検討し、目標達成のために多様なオプションから選ぶように生徒を促す。</p>	<p>学習の学習基準がある場合、学びのプロセスを通じて、その内容をどのように学び、どのように表出し、どのように努力するのかに関して、自分の目標を設定させる。</p>
	<p>チャレンジのレベルが最適となるよう課題のレベルやリソースを変える(8.2)</p>	<p>難易度が明確な内容を学ぶためのオプションを生徒に提供する。例：「南北戦争について学習するために、次のリソースの中の1つを調査しましょう・・・」。かなり高度な原文書やビデオなどがリソースとなる。</p>	<p>難易度がはっきりしていて、学習基準と自分自身の学習方略を考慮する必要があるような内容を学ぶための複数のオプションを生徒に提供する。例：「南北戦争について学習するために、次の6つのリソースから2つを選びましょう・・・」。リソースとして、かなり高度な原文書、要約文書、大学教授のビデオやポッドキャストが考えられる。</p>	<p>学習基準に合わせて、自分自身の学習内容や評価を決めさせる。努力するために使え、自分の興味や熱意に適したリソースを見つけるために役立つオプションを増やせるように協力しあうことを生徒に促す。</p>
	<p>協働と仲間集団を育む(8.3)</p>	<p>他の人と効果的に協働することを学ぶ機会を生徒に提供する。例：明確な目標、役割、責任をもたせた協働学習グループ。</p>	<p>協働グループワークを大切にするクラスを育む。生徒は自分たちでグループを構成し、そのグループの規範や責任などを決め、多くの場合、多様なパートナーを求め、協働する。</p>	<p>多様な考えを統合しながら、目標を設定し、方略を生み出し、互いにフィードバックし合い、習熟を助けるフィードバックで互いの背中を押すことができるような協働するクラスの文化を作る。</p>
	<p>習熟を助けるフィードバックを増やす(8.4)</p>	<p>生徒が成績や指示に従うことに囚われた考え方をするのはなく、習熟を目指すようにフィードバックを与える。例：困難に直面したときに、何らかの支援と方略を使うように励ますようなフィードバックを与える。</p>	<p>フィードバックを与えるだけでなく、生徒が互いに習熟を意識したフィードバックをし合い、進歩とさらなる努力や頑張りを支えられるようにする。</p>	<p>中級レベルの実践に加え、生徒が自分を振り返り、自分を舵取りし、困難なことでも自分の成長を追求できるようになるために、習熟を助けるフィードバックを生徒が自力で使えるように促す。</p>

取り組みのための多様な方法を提供しましょう



	初級	中級	上級	
自己調整のためのオプションの提供(9)	モチベーションを高める期待や信念を持てるよう促す(9.1)	頑張ることの価値を教え、どの生徒も自分自身を有能な学習者と思えるようなことばとフィードバックを使う。	関係を深め、真実味のあるつながりを作り、本人の熱意と興味を活用するために、生徒との対話を増やし、奮起させ、成功に向けて後押しする。	生徒が自分自身と対話すること（セルフ・トーク）を促し、学びに対するポジティブな姿勢を互いに高め合うようなクラスの文化を作る。
	対処のスキルや方略を促進する(9.2)	生徒が自分の感情反応をコントロールするときに助けとなるリマインダー、モデル、ツールを提供する。例：対処スキルの例となるエピソードやシミュレーションを使う。違う席に移る、イライラを落ち着かせるツール、マインドフルネス、休憩などストレスを減らすためのオプションを提供する。	困難に対処させるために、生徒が自分の学びの調整に役立つ方略を選べるようにする。例：リラックスするためのスペース、ヘッドホンをつける、散歩するなど。	生徒が自分を振り返り、自分自身の感情を正しく理解し、適切な対処の方略やスキルを使い、自身やクラスメイトの学びを高められるように促す。
	自己評価と内省を伸ばす(9.3)	生徒がルーブリックや自己評価などを使って自分の学びを振り返ることができるようにツールを提供する。	様々な評価法のモデルと足場的支援を提供し、生徒が自分に最適なものを見つけ、選ぶことができるようにする。例：進歩をモニターするために、自分の行動と学業成績のデータを収集し、図表化する。	生徒が日常的に学習のプロセスと評価を振り返るような文化を作り、生徒が自分を舵取りし、成長し続ける学習者になるようにする。

**提示（理解）** のための  
多様な方法を提供しま  
しょう



**知覚するための  
オプション  
の提供(1)**

<p>情報の表し方をカスタマイズする方法を提供する(1.1)</p>	<p>個人差に対処し、多くの生徒のニーズに合うリソースと教材を提供する。例：拡大印刷、余白を増やす、視覚情報など。</p>	<p>生徒がデジタル媒体を通じてアクセスできるようなリソースと教材を提供する。生徒が自分のデバイスでテキスト、視覚情報や聴覚情報を活用できるようにすれば、自分のやりやすさに合わせ、ノートを取り、サイズや音量を調整することができる。</p>	<p>自分のニーズに最適のリソースと教材を選び（例：ビデオを観る、配布資料を調べる）、教師にいちいち指示されなくても、生徒が自分のやりやすさに合わせて学習を進められるようにする。</p>
<p>聴覚情報を代替の方法でも提供する(1.2)</p>	<p>聴覚的に提示されるあらゆる情報に対して、オプションを提供する。例：ビデオを再生するときに字幕を使う。</p>	<p>内容を学ぶための複数の代替手段を選ぶようにオプションを提供し、聴覚情報に頼る必要がないようにする。例：字幕付きのビデオ、文字で読む。</p>	<p>生徒が聴覚情報の代替を選ぶようにするとともに、理解を深めるために、他の定評のあるリソースを見つけるための枠組みを提供する。例：ウェブサイトや著者が信用に足るかどうか判断するためのリソース。</p>
<p>視覚情報を代替の方法でも提供する(1.3)</p>	<p>視覚的に提示されるあらゆる情報に対して、オプションを提供する。例：範読を聞きながらテキストを読む。</p>	<p>内容を学ぶための代替手段を選ぶように複数のオプションを提供し、視覚情報に頼る必要がないようにする。例：読む代わりにオーディオブックを聞く、教師のサポートを受けて小グループで話しながら活動することを選ぶ。</p>	<p>生徒が視覚情報の代替を選ぶようにするとともに、理解を深めるために、他の定評のあるリソースを見つけるための枠組みを提供する。例：ウェブサイトや著者が信用に足るかどうか判断するためのリソース。</p>

## 提示（理解）のため の多様な方法を提供しま しょう



### 言語、数式、 記号のオプ ションの提供 (2)

語彙や記号を  
わかりやすく  
説明する(2.1)

慣用句、古語、特定の  
文化に固有の言い回  
し、俗語は言い換え  
る。例：定義、視覚情  
報、説明、例を用い  
て、明示的に教える。

初級レベルの実践に加  
え、文脈を手がかりに  
する方法の指導をわか  
りやすく行い、ことば  
の意味を知るために本  
人がよく知らないこと  
ばを一人で学習できる  
ようにする。

入手可能なリソースを  
使い、協働作業を行っ  
て重要なことばの本当  
の使い方を理解できる  
ようにする。

構文や構造を  
わかりやすく  
説明する(2.2)

（言語や数式などの）  
なじみの薄い構文や  
（図表、グラフ、イラ  
スト、長い説明文や物  
語）基になっている構  
造を分かりやすく示  
す。例：説明文の接続  
詞を目立たせる。

生徒自身で構文と構  
造をはっきりさせら  
れるリソース（辞  
書、数学の参照シー  
ト、百科事典など）  
を与える。

教材を先に見せて、  
明らかにする必要が  
ある箇所に印をつけ  
させ、知識と理解を  
積み上げるために適  
切なリソースを選べ  
るように促す。

文字や数式や  
記号の読み下  
し方をサポー  
トする(2.3)

情報の理解に苦勞する  
生徒に対して、直接指  
導、プロンプト、足場  
的支援が組み込まれた  
教材を提供する。理解  
を促進させる代替教材  
（視覚情報など）を与  
えても良い。

理解のバリアを低く  
し、生徒が、記号の表  
記法、符号、問題を解  
読するのを助けるよう  
な方略と教材（数学の  
参照シート、文脈手が  
かり方略など）を提供  
する。

生徒が学習した方略を  
使って自力でテキス  
ト、数学記号の表記  
法、符号を解読するこ  
とができるようにす  
る。

別の言語で  
も理解を促  
す(2.4)

重要な情報やことばに  
ついては特に、代替の  
教材提示を行う。例：  
授業が行われている言  
語（日本の場合、日本  
語）で提示されている  
重要な情報は、その言  
語の能力がまだ不十分  
な学習者の第一言語で  
も提示する。画像とこ  
とばを組み合わせ  
て使ったり、反対語を提  
示したりする。

アプリやウェブサイ  
ト、辞書などのツール  
にアクセスさせ、学習  
教材を翻訳できるよう  
にし、協働して理解を  
積み上げられるように  
する。

生徒が自力でオプ  
ションを活用できる  
ようにし、アプリな  
どのツールを使っ  
て、学習教材を翻訳  
し、協働して理解を  
積み上げられるよう  
にする

様々なメディ  
アを使って図  
解する(2.5)

ある形式のシンボル表  
象（文字による説明や  
数式など）で示された  
重要な概念は、代替の  
形式（具体例、図、ビ  
デオなど）と一緒に示  
す。

生徒が意味を理解し、  
理解を深めるためのオ  
プションを選ぶことが  
できるように、複数の  
オプションとシンボル  
表象を提示する。

いろいろな提示のオ  
プションから効果的  
なリソースを生徒に  
選ばせる。全ての生  
徒が、同じリソース  
から学ぶ必要はな  
い。

提示（理解）のため  
の多様な方法を提供しま  
しょう



<p>理解のための オプションの 提供(3)</p>	<p>背景となる知識を活性化または提供する(3.1)</p>	<p>全ての生徒に学習内容に関する背景知識を直接指導する。指導には、視覚情報、オーディオなどのためのオプションを合わせて用いる。</p>	<p>関連する予備知識を与えたり活性化したりするオプション、あるいは他の不可欠な知識と関連付けるためのオプションを提供する。 例：先行オーガナイザー（KWL法、概念マップなど）を利用し、適切な背景知識を構築することができるリソースを選ぶように生徒に促す。</p>	<p>生徒が自分たちの背景知識に欠けているものを見つけ、授業の目標に到達するためにその知識を構築する適切なリソースを選べるようにする。例：診断的な評価から始め、それを振り返り、学習におけるギャップを埋めるための方略を考えるように生徒に促す。</p>
	<p>パターン、重要事項、全体像、関係を目立たせる(3.2)</p>	<p>知識の中で最も重要なことを認識できるようにわかりやすいヒントや促しを与える。例：アウトライン、グラフィックオーガナイザー、ハイライトマーカーを使うことを教える。</p>	<p>知識の中で最も重要なことを認識できるようにオプションと複数の方略を提供する。例：アウトライン、グラフィックオーガナイザー、蛍光ペン、ワードクラウドアプリ、その他のオーガナイズツールを使わせる。</p>	<p>生徒が自分を振り返り、重要な知識を目立たせるための方略で自分に最も効果的だったものを特定し、パターン、重要事項、全体像、関連を認識しやすくする方略を自力で選べるようにする。</p>
	<p>情報処理、視覚化、操作の過程をガイドする(3.3)</p>	<p>処理と視覚化を促す教材、方略、ツールを全ての生徒に提供する。ツールには、操作物（数積木など）、用語集、グラフィックオーガナイザーなどが含まれる。</p>	<p>処理と視覚化を促すために用いる複数の教材、方略、ツールのオプションを提供する。 例：視覚に書き留めるためのオプション、イメージを探すのにテクノロジーを使う、操作物を用いるなど。</p>	<p>生徒が自分を振り返り、情報処理と視覚化、操作を導くための最も適切な教材、方略、ツールを自力で選び、必要に応じてさらに他のツールと方略も探せるようにする。</p>
	<p>の と 化を最 にする(3.4)</p>	<p>生徒が持っている知識を他の領域や他の状況に移させる方略をわかりやすくモデルで示す。例：その知識を他の授業でどのように使うことができたか、その知識は異なる内容同士を比較するのにどのように使えたかを示す（本文の比較など）。</p>	<p>複数の異なる分野にまたがって行うプロジェクトなどの有意義な転移のオプションを提供する。そこで生徒は本当に結びつき、知識を有意義な方法で他の教科や真実味のある状況に適用することができる。</p>	<p>生徒が授業で学習した知識やスキルを内容の理解を深めたり、自分自身の本物のプロジェクトを計画したり、自分たちの知識と理解を本当の現実世界の状況で表出したりするために適用するのを促す。</p>

Provide multiple means of  
**Action & Expression**



Provide options for physical action (4)	Vary the methods for response and navigation (4.1)	Provide more than one option for the methods used for response and navigation within the same assignment. For example, some students may use iPads while others write by hand.	Provide multiple options for the methods used for response and navigation within the same assignment. For example, some students may use iPads, different writing utensils, keyboards, voice recognition software, etc.	Empower students to use their own devices to respond to and interact with materials for all assignments (e.g., options to use headphones, keyboards, manipulatives, joysticks, etc.).
	Optimize access to tools and assistive technologies (4.2)	Allow some students to use assistive technologies for navigation, interaction, and composition if required by an IEP or 504.	Provide multiple options for all students to use assistive technology like iPads, voice recognition, and 1:1 devices regardless of variability.	Empower students to assess the need for and choose technologies that work for them to provide additional, personalized options to express their knowledge and skills.
Provide options for expression and communication (5)	Use multiple media for communication (5.1)	Provide more than one way to answer on assessments so students can express their understanding without barriers. Taking a traditional test may be one option, but so, too, could be an oral presentation or writing an essay.	Provide students with multiple options to express their understanding--and let them suggest some ways of being assessed, so they understand that showing what they know is the point rather than how well they perform on a particular kind of test. Students may choose to express their understanding in text, audio, video, multimedia, live presentations, and many other ways.	Let students reflect on a standard or a set of competency or proficiency-based rubrics, and then independently create authentic and innovative products that allow them to demonstrate their mastery of the standard.
	Use multiple tools for construction and composition (5.2)	Provide the choice of more than one tool or strategy to help students express their knowledge. For example, allow students to compose a response using traditional pen and paper or allow them to create a multimedia presentation on their device.	Provide multiple tools and strategies to help students express their knowledge. For example, allow students to compose a response using traditional written methods, blogging software, or multimedia tools such as ThingLink or Emaze.	When provided with a task, or when independently creating an authentic product, students are empowered to self-reflect and select tools and materials that will support their learning and challenge them to strive for rigorous options to express knowledge and skills in accessible, engaging ways using, and then building upon, the tools they were exposed to in class.
	Build fluencies with graduated levels of support for practice and performance (5.3)	Implement a scaffolding model from teacher-directed to collaborative groups to independent work, slowly releasing responsibility to students. For example, in collaborative work, assign team members specific tasks and monitor their progress before moving to independent work or move from teacher-directed instruction to Socratic seminars.	Provide options for support and scaffolding throughout the learning process and encourage students to choose resources that allow them to build their own knowledge while working in collaborative groups and working independently. In collaborative groups, for example, encourage students to self-select roles; in class discussions, have students collaborate to design the rules and structures.	Empower students to create challenges that let them productively struggle to reach rigorous goals and use supports as tools to help them to make improvements rather than making things "easier." Encourage students to provide feedback and drive teacher instruction; encourage them to define roles and expectations for group work that include routine monitoring and reflection.

Provide multiple means of  
**Action & Expression**



<p><b>Provide options for executive functions (6)</b></p>	<p>Guide appropriate goal-setting (6.1)</p>	<p>Provide clear goals to students so it's clear what they must do to meet or exceed expectations. For example, post standards on the board and on assignments, and articulate those standards and goals throughout the lesson.</p>	<p>Create conditions for learners to develop goal-setting skills. For example, provide students with standards on the board and on assignments, but also provide models or examples of the process and product of goal setting so all students can develop personalized goals while working toward standards.</p>	<p>Encourage students to create personalized learning plans that include goals that align to identified standards as well as action plans and strategies that optimize personal strengths while addressing individualized areas of challenge.</p>
	<p>Support planning and strategy development (6.2)</p>	<p>Facilitate the process of strategic planning. For example, provide all students with checklists for tasks, due dates, and planning templates to keep students organized.</p>	<p>Facilitate the process of strategic planning. For example, provide students not only with organizational tools but with scaffolds they need to create personalized strategies to meet their goals.</p>	<p>Empower students to self-reflect, self-assess, and create personalized action plans to achieve their identified goals. For example, encourage students to reflect on how much time and resources they need to perform selected tasks and then encourage them to make personal due dates and task lists to reach their goals.</p>
	<p>Facilitate managing information and resources (6.3)</p>	<p>Provide scaffolds and supports to act as organizational aids for students. For example, provide all students with templates for note-taking.</p>	<p>Provide exposure to multiple scaffolds, supports, and resources that act as organization aids, such as a variety of graphic organizers or different strategies for note-taking.</p>	<p>Empower students to self-reflect, self-assess, and independently choose the most appropriate supports and resources that will allow them to organize information and resources so they can achieve their identified goal(s).</p>
	<p>Enhance capacity for monitoring progress (6.4)</p>	<p>Provide formative feedback tools to students so they can monitor their own progress. For example, provide students with assessment checklists, scoring rubrics, and multiple examples of annotated student work/performance examples.</p>	<p>Provide multiple opportunities for students to receive feedback from the teacher, peers, and themselves using a variety of tools such as assessment checklists, scoring rubrics, and exemplars.</p>	<p>Empower students to use multiple resources, including teachers and peers, to consistently reflect on their performance, collect feedback, and revise their work to promote and highlight growth.</p>